

大牟田市(仮称)総合体育館等実施設計・施工支援業務委託

簡易公募型プロポーザル審査結果報告書

令和3年10月

大牟田市(仮称)総合体育館等実施設計・施工支援業務委託者選定委員会

1. 本プロポーザルの実施目的

デザインビルド方式による大牟田市（仮称）総合体育館等実施設計及び新築工事を的確に推進するため、大牟田市に対するコンストラクション・マネジメントの支援業務が必要となります。本業務に対する理解や取組意欲や品質、コスト、工程管理に対する支援の実績、技術提案及び提案価格を総合的に評価し、最優秀提案者及び次点提案者を選定することを目的として、簡易公募型プロポーザル方式が採用されました。

2. 審査体制

選定にあたっては、所管部局の庁内委員に加え、技術職の庁内委員も参加する「大牟田市(仮称)総合体育館等実施設計・施工支援業務委託者選定委員会」(以下「委員会」という。)が設置されました。

3. 委員会委員

	氏名	役職等
委員長	中島 敏信	大牟田市 市民協働部長
副委員長	鴛海 博	大牟田市 都市整備部長
委員	富安 徹	大牟田市 市民協働副部長
	村上 崇	大牟田市 都市計画・公園課長
	谷本 卓也	大牟田市 建築住宅課長

4. 委員会経過

委員会	開催日	内容
第1回	令和3年 7月13日(火)	プロポーザル実施要領、審査要領の決定
第2回	9月3日(金)	1次審査結果及び技術提案書提出要請者の選定について
第3回	9月28日(火)	プレゼンテーション及びヒアリングの実施、最優秀提案者と次点提案者を選定

5. プロポーザル参加者

3者

6. 審査内容

(1) 1次審査 (配点：180点)

事前に定めた審査要領に基づき、参加者及び配置予定技術者等の業務実績・保有資格の状況等について事務局が評価点を算定しました。

参加表明のあった3者全てが技術提案評価対象者に選定されました。なお、1次審査の評価点は、2次審査の評価点確定後に当委員会が報告を受けました。

(2) 2次審査 (配点：320点)

事前に定めた評価基準に基づき、業務実施方針及び業務提案について参加者が技術提案し、委員とのオンラインによるプレゼンテーション及びヒアリングを実施して、提案内容を評価しました。

業務実施方針に関しては「業務目的の理解」「業務の進め方」「課題に対する対応策」業務提案に関しては「本事業に対する独自の支援策について」「本事業に対するコスト・品質管理について」「他都市における良好事例の本事業への適用について」の3つの提案項目について評価しました。

なお、事務局にて算定した価格評価点は、最後に当委員会が報告を受け、2次審査を確定させました。

7. 各参加者の評価点

	評価項目	配点	番号 1	番号 2	番号 3
1 次 審 査	I 企業要件	40	40.0	40.0	39.2
	II 配置予定技術者の業務実績及び保有資格の状況	140	120.6	84.5	81.7
	計	180	160.6	124.5	120.9
2 次 審 査	III 業務実施方針	70	54.0	43.0	40.0
	IV プレゼンテーション	20	18.0	13.0	14.0
	V 業務提案	210	170.0	148.0	119.5
	VI 価格評価	20	15.7 ¥53,460,000	16.3 ¥51,480,000	20.0 ¥42,000,000
	計	320	257.7	220.3	193.5
合 計		500	418.3	344.8	314.4

※2次審査の配点は、各委員の評価点を分類ごとに平均して算出。

提案上限価格は、59,400,000円(消費税及び地方消費税を含む)

8. 審査結果

番号	区分	参加者名
1	最優秀提案者	明豊ファシリティワークス株式会社
2	次点提案者	非公開

9. 審査講評

最優秀提案者となった「明豊ファシリティワークス株式会社」は、多くの実務経験を有した優れた技術者を配置され、本事業の課題や大牟田市の地域特性をよく理解した上で各提案項目に対して優れた提案を行われました。

具体的には、国又は地方公共団体等での実務実績を多数有し、コンストラクション・マネジメントに資する保有資格を有する技術者を多く配置されています。また、指定管理業務についてのサウンディング調査実施など大牟田市が有する課題に対する独自提案が行われた点に優位性がありました。なお、提案価格は参加者のうち、最も高額となりましたが、他の評価点の優位性を覆すまでに至りませんでした。

次点提案者は評価点の合計では最優秀提案者に及びませんでした。業務目的をよく理解した上で本事業の課題を踏まえ、各提案項目に対して完成度の高い提案を行われました。具体的には、効果的なコスト管理を行う提案に特徴があり、意欲的で優れた提案内容でした。

また、もう一者の提案者は価格評価において最も高い評価点を得るとともに、業務継続計画(BCP)等に関する踏み込んだ提案を行われましたが、評価を覆すまでには至りませんでした。

結果として応募は3者でしたが、いずれの提案内容も本事業の特徴を理解した、非常にレベルの高いものでした。本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やし、真摯に努力頂きました各参加者に対し、心から感謝申し上げます。

令和3年11月1日

大牟田市(仮称)総合体育館等実施設計・施工支援業務委託者選定委員会
委員長 中島 敏信